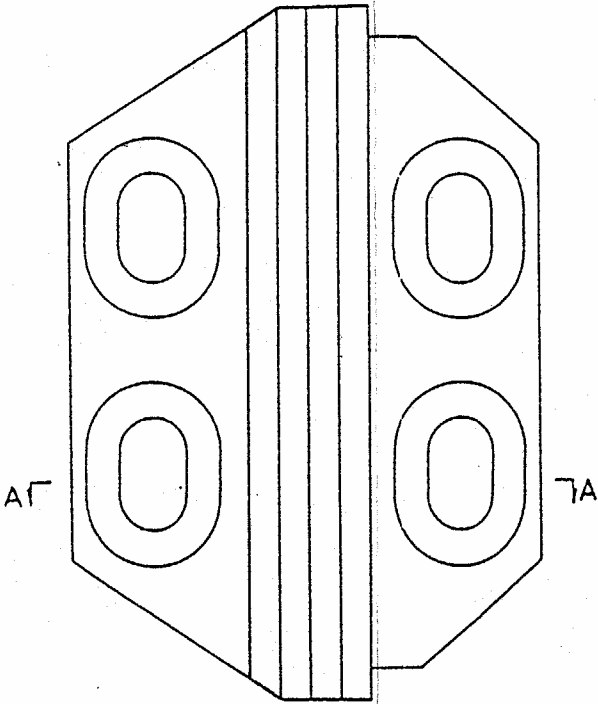


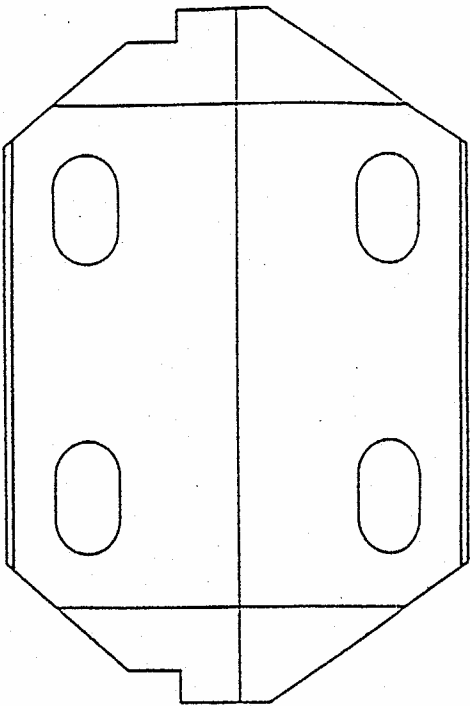
イ号物件

イ号物件は、ばね製造機の線ガイドであり、その説明は次のとおりである。
第一図はイ号物件であるばね製造機の線ガイドの正面図、第二図は第一図の背面図、第三図は第一図の平面図、第四図は第一図のA-A断面図、第五図は第一図の左側面図、第六図は第一図の右側面図、第七図は第六図のB-B断面図である。

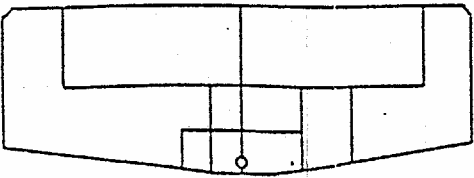
第一図



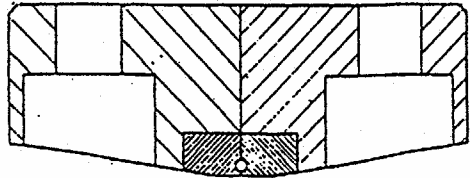
第二図



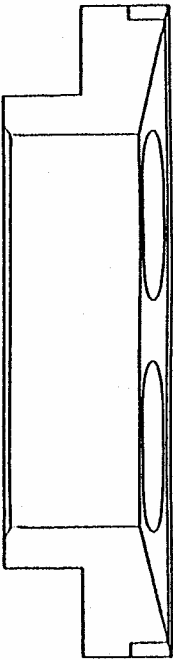
第三図



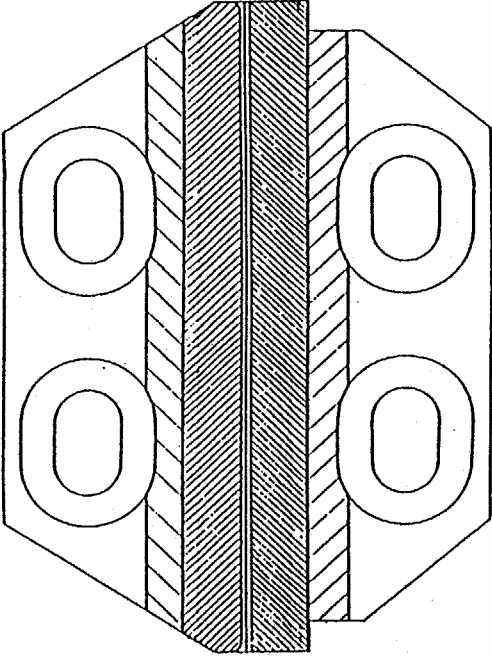
第四図



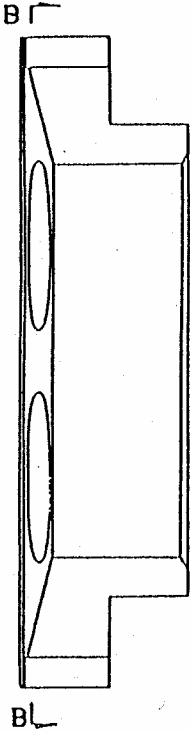
第五圖



第七圖



第六圖

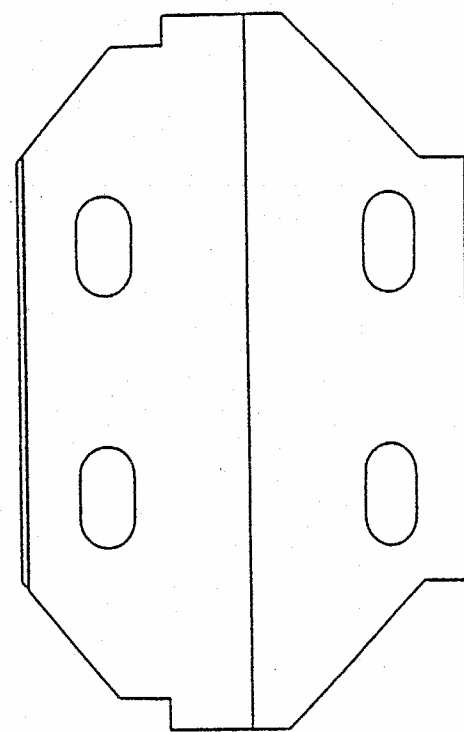


口号物件

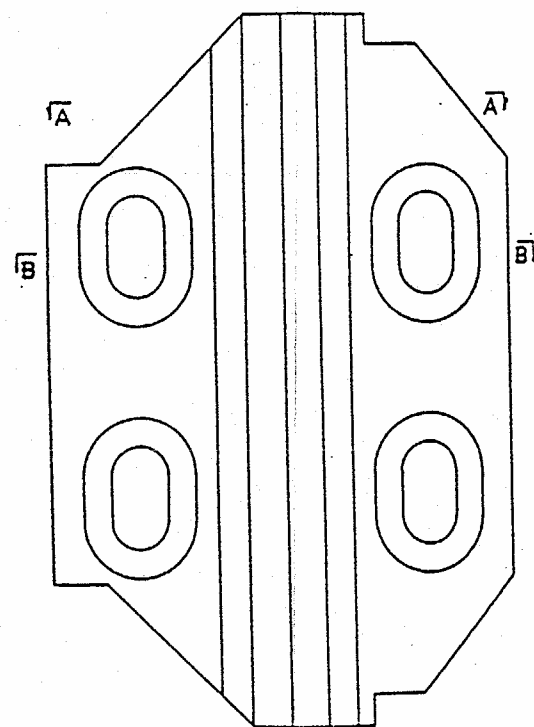
口号物件は、ばね製造機の線ガイドであり、その説明は次のとおりである。

第一図は口号物件であるばね製造機の線ガイドの正面図、第二図は第一図の背面図、第三図は第一図の平面図、第四図は第一図の底面図、第五図は第一図のA-A断面図、第六図は第一図のB-B断面図、第七図は第一図の左側面図、第八図は第一図の右側面図、第九図は第七図のC-C断面図である。

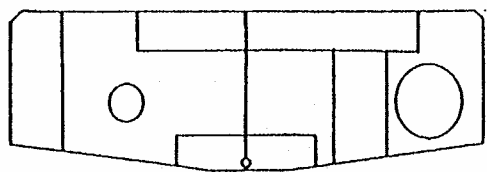
第二図



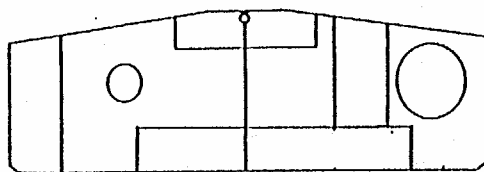
第一図



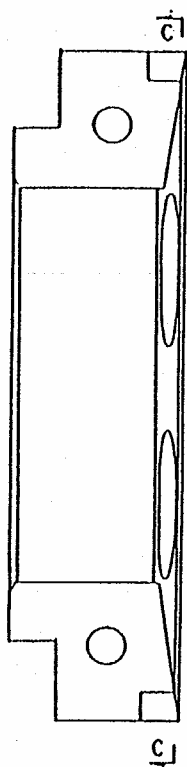
第三图



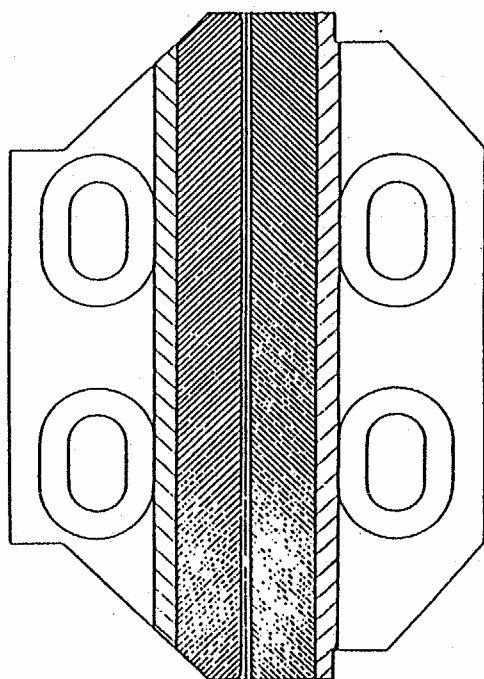
第四图



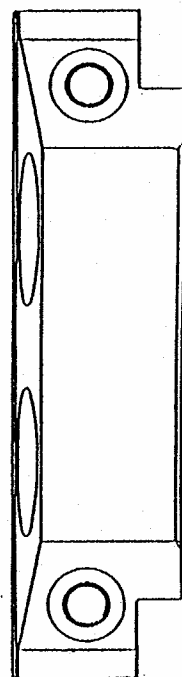
第七图



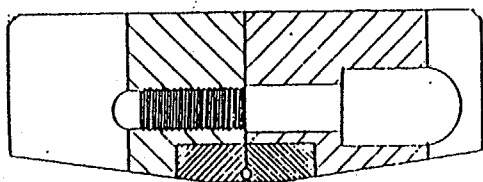
第九图



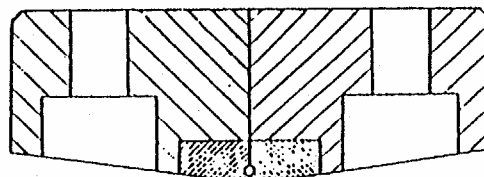
第八图



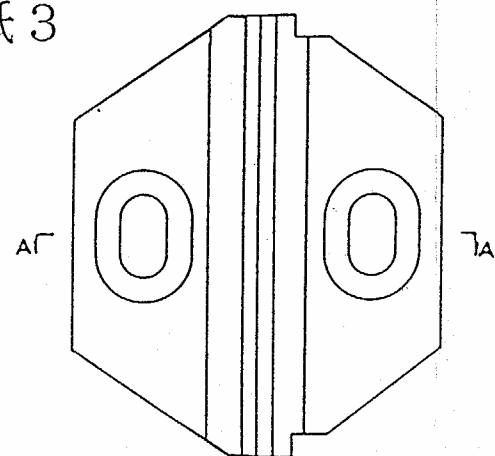
第五图



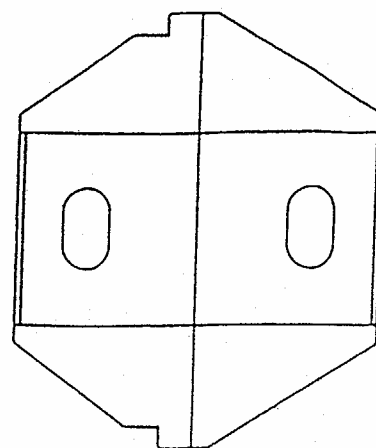
第六图



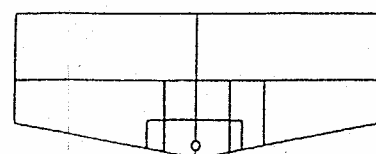
第一図



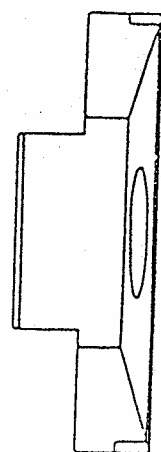
第二図



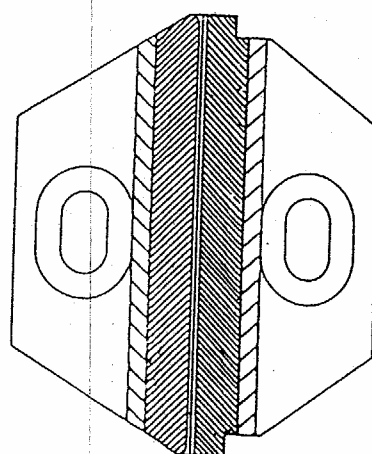
第三図



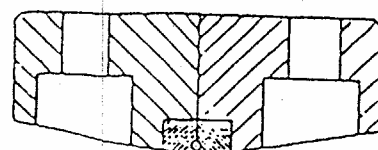
第五図



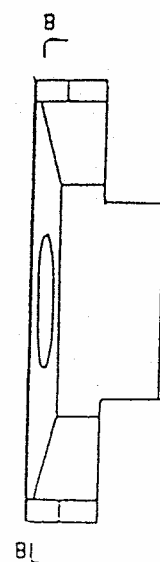
第七図



第四図



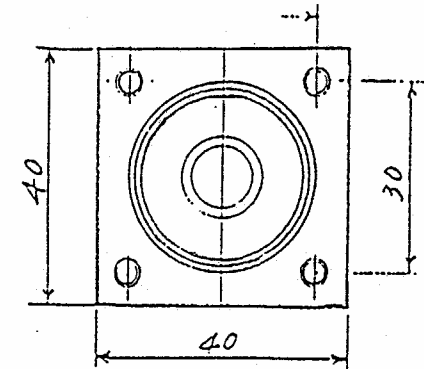
第六図



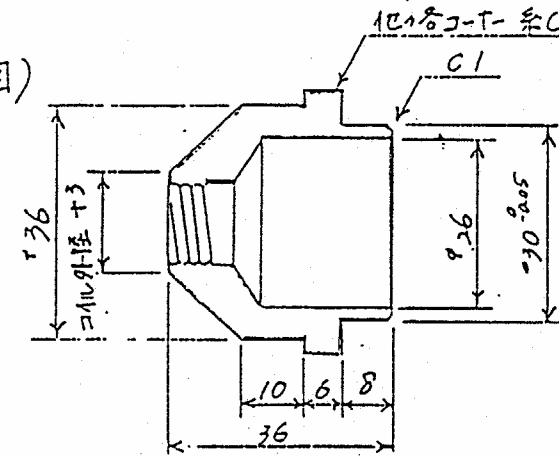
ハ号物件

ハ号物件は、ばね製造機の線ガイドであり、その説明は次のとおりである。
 第一図はハ号物件であるばね製造機の線ガイドの正面図、第二図は第一図の背面図、第三図は第一図の平面図、第四図は第一図のA-A断面図、第五図は第一図の左側面図、第六図は第一図の右側面図、第七図は第六図のB-B断面図である。

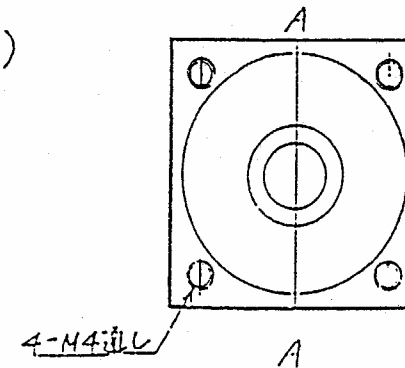
第一図 (平面図)



第二図 (側面図)



第三図 (底面図)



二号物件

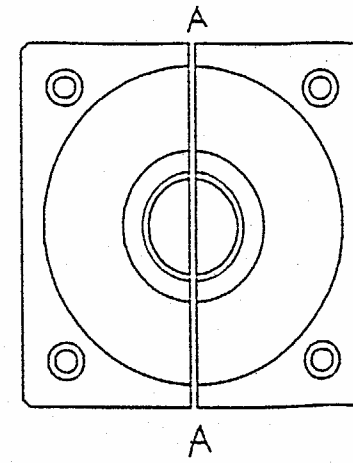
二号物件は、スプリングチャックであり、その説明は次のとおりである。
 第一図は二号物件であるスプリングチャックの平面図、第二図は側面図、第三図は底面図である。

ホ 号 物 件

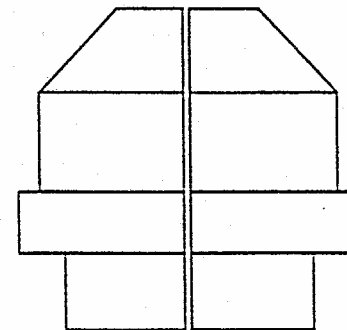
ホ号物件は、スプリングチャックであり、その説明は次のとおりである。

第一図はホ号物件であるスプリングチャックの正面図、第二図は第一図の平面図、第三図は第一図のA-A面図である。

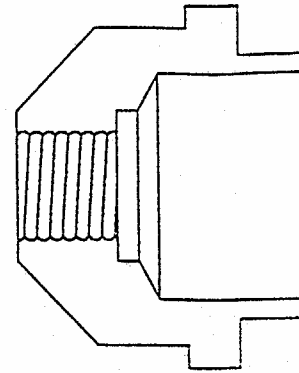
第一図



第二図



第三図



本件第一意匠の構成

【原告の主張】	【被告の主張】
左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形六角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する、前後方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、右半体の右側端線と左半体の左側端線とを対辺として構成される四角形の内側に形成されたボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後（正面から背面へ）方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、
	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線と仮称する）及び更にその右側に垂直線（右第二線と仮称する）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線と仮称する）及び更にその左側に垂直線（左第二線と仮称する）が配設され、
左半体の左右側面は垂直面であり、左半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の下面側は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、左側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、	左半体の左右側面は正面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは正面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は垂直面であり、右半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の下面側は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、右側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有するものである。	右半体の左右側面は正面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までに狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側に背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有するものである。

イ号意匠の構成

【原告の主張】	【被告の主張】
左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形六角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する、前後方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、右半体の右側端線と左半体の左側端線とを対辺として構成される四角形の外側にはみだして形成されたボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後（正面から背面へ）方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、
	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線と仮称する）及び更にその右側に垂直線（右第二線と仮称する）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線と仮称する）及び更にその左側に垂直線（左第二線と仮称する）が配設され、
左半体の左右側面は垂直面であり、左半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、左側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、	左半体の左右側面は正面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は垂直面であり、右半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、右側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有するものである。	右半体の左右側面は正面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部から右第二線的位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線的位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側に背面に対して平行な狭い垂直面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有するものである。

本件第一意匠の類似意匠の構成

【原告の主張】	【被告の主張】
左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形一二角形であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する、前後方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔とを有し、また左半体は上下部に左右方向に貫通するねじ孔を有し、右半体は上下部に左右方向に貫通する前記左半体のねじ孔の軸芯と軸芯を同一とする、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有するボルト挿通孔を有しており、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後（正面から背面へ）方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔とを有し、また、左半体は上下部に左右方向に貫通するねじ孔を有し、右半体は上下部に左右方向に貫通する前記左半体のねじ孔の軸芯と軸芯を同一とする、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有するボルト挿通孔を有しており、
	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線と仮称する）及び更にその右側に垂直線（右第二線と仮称する）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線と仮称する）及び更にその左側に垂直線（左第二線と仮称する）が配設され、
左半体の左右側面は垂直面であり、左半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって下り傾斜の傾斜面と、狭い水平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部の狭い水平面と、左側に向かって上り傾斜の傾斜面と、狭い水平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、左側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、	左半体の左右側面は背面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面と、更に傾斜の終わったところから左に向かって狭い水平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面と、更に傾斜の終わったところから左に向かって狭い水平面を有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は垂直面であり、右半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、右側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有するものである。	右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までに狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段落と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までに狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面とを有するものである。

ロ号物件の構成

【原告の主張】	【被告の主張】
左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形一二角形であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する、前後方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状Ｌ字状の段部とを有し、また左半体は上下部に左右方向に貫通するねじ孔を有し、右半体は上下部に左右方向に貫通する前記左半体のねじ孔の軸芯と軸芯を同一とする、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有するボルト挿通孔を有しており、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後（正面から背面へ）方向に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面Ｌ字状の段部とを有し、また左半体は上下部に左右方向に貫通するねじ孔を有し、右半体は上下部に左右方向に貫通する前記左半体のねじ孔の軸芯と軸芯を同一とする、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有するボルト挿通孔を有しており、
	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線と仮称する）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線と仮称する）が配設され、
左半体の左右側面は垂直面であり、左半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって下り傾斜の傾斜面と、狭い水平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部の狭い水平面と、左側に向かって上り傾斜の傾斜面と、狭い水平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、左側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、	左半体の左右側面は背面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側部は、突合せ部側から左第一線までの範囲においての狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面と、傾斜の終わったところから更に左に向かって狭い水平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの範囲においての狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面と、傾斜の終わったところから更に左に向かって狭い水平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までの範囲において背面に対して平行な狭い垂直面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は垂直面であり、右半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てＬ字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てＬ字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、右側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有するものである。	右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てＬ字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆Ｌ字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までの範囲において背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有するものである。

本件第二意匠の構成

【原告の主張】	【被告の主張】
左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は変形六角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は変形八角形であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する、前後方向に貫通した上下方向に長い楕円状の一つのボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部を有し、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、右半体の右側端線と左半体の左側端線とを対辺として構成される四角形の内側に形成されたボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後（正面から背面へ）方向に貫通した上下方向に長い楕円状の一つのボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、
	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線と仮称する）及び更にその右側に垂直線（右第二線と仮称する）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線と仮称する）及び更にその左側に垂直線（左第二線と仮称する）が配設され、
左半体の左右側面は垂直面であり、左半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、左側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、	左半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までに狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背部に対してゆるやかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は垂直面であり、右半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、右側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有するものである。	右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第二線までの狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段落と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面を有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面とを有するものである。

ハ号意匠の構成

【原告の主張】	【被告の主張】
左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は変形六角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一対の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は変形八角形であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する、前後方向に貫通した上下方向に長い楕円状の一つのボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、右半体の右側端線と左半体の左側端線とを対辺として構成される四角形の内側に形成されたボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後（正面から背面へ）方向に貫通した上下方向に長い楕円状の一つのボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、
	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線と仮称する）及び更にその右側に垂直線（右第二線と仮称する）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線と仮称する）及び更にその左側に垂直線（左第二線と仮称する）が配設され、
左半体の左右側面は垂直面であり、左半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、左側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、左側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、	左半体の左右側面は背面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部から左第一線を越えかつ左第二線に至らないまでの間に狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線を越えかつ左第二線に至らないまでの間に狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は垂直面であり、右半体の上側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側の狭い水平面と、正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、右側に向かって上り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側の狭い垂直面と、右側奥部に向かって下り傾斜の傾斜面とを有するものである。	右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第一線を越え右第二線に至らない位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第一線を越え右第二線に至らない位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段落と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対してゆるやかな角度の垂直平面を有するものである。

【本件第一意匠の構成】	【イ号意匠の構成】
左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形略八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形略八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後方向（正面から背面へ）に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後方向（正面から背面へ）に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、
右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線）及び更にその右側に垂直線（右第二線）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線）及び更にその左側に垂直線（左第二線）が配設され、	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線）及び更にその右側に垂直線（右第二線）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線）及び更にその左側に垂直線（左第二線）が配設され、
左半体の左右側面は背面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までの背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有し、	左半体の左右側面は背面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までの背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までの範囲において背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の傾斜平面を有するものである。	右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は突合せ部側から右第二線の位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線の位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側に背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有するものである。

別紙 13 本件第一意匠の類似意匠とロ号意匠の構成

【本件第一意匠の類似意匠の構成】	【ロ号意匠】
左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形略一〇角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は上下方向に長い変形略一〇角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後方向（正面から背面へ）に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔とを有し、また、左半体は上下部に左右方向に貫通するねじ孔を有し、右半体は上下部に左右方向に貫通する前記左半体のねじ孔の軸芯と軸芯を同一とする、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有するボルト挿通孔を有しており、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後方向（正面から背面へ）に貫通した上下方向に長い楕円状の上下一対のボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面Ｌ字状の段部とを有し、また左半体は上下部に左右方向に貫通するねじ孔を有し、右半体は上下部に左右方向に貫通する前記左半体のねじ孔の軸芯と軸芯を同一とする、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有するボルト挿通孔を有しており、
右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線）及び更にその右側に垂直線（右第二線）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線）及び更にその左側に垂直線（左第二線）が配設され、	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線）及び更にその右側に垂直線（右第二線）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線）及び更にその左側に垂直線（左第二線）が配設され、
左半体の左右側面は背面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面と、更に傾斜の終わったところから左に向かって狭い水平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面と、更に傾斜の終わったところから左に向かって狭い水平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有し、	左半体の左右側面は、正面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面と、更に傾斜の終わったところから左に向かって狭い水平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面と、更に傾斜の終わったところから左に向かって狭い水平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までの背面に対して平行な狭い垂直面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てＬ字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆Ｌ字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までの背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有するものである。	右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上面側は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てＬ字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線を越えた位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆Ｌ字状に表れる切欠き段部と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までの背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有するものである。

本件第二意匠とハ号意匠の構成

【本件第二意匠の構成】	【ハ号意匠】
左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は変形略八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、	左右一对の半体を突き合わせてなるもので、正面形状は変形略八角形状であり、正面図及び背面図は上下方向の中央を通る仮想水平線を対称軸として線対称であり、
左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト頭が嵌まり込む段落ち部を有する前後方向（正面から背面へ）に貫通した上下方向に長い楕円状の一つのボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、	左右半体各々は、これらの突合せ部の前側部に形成された相互に対向する上下方向に渡る線材溝と、ボルト等が嵌まり込む段落ち部を有する前後方向（正面から背面へ）に貫通した上下方向に長い楕円状の一つのボルト挿通孔と、後部上下部に形成された側面形状L字状の段部とを有し、
右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線）及び更にその右側に垂直線（右第二線）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線）及び更にその左側に垂直線（左第二線）が配設され、	右半体の前面には、突合せ部から右側に垂直線（右第一線）及び更にその右側に垂直線（右第二線）が配設され、左半体の前面には、突合せ部から左側に垂直線（左第一線）及び更にその左側に垂直線（左第二線）が配設され、
左半体の左右面側は背面に対して直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線までの狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有し、	左半体の左右面側は背面に対し直角の垂直平面であり、左半体の上側面は、突合せ部側から左第一線を越えかつ左第二線に至らないまでの間に狭い水平面と、次いで左側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の下側面は、突合せ部側から左第一線を越えかつ左第二線に至らないまでの間に狭い水平面と、次いで左側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、左半体の前面は、突合せ部側から左第一線までは背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有し、
右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第二線までの狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段落と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側面は、突合せ部側から右第二線までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段落と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までの背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有するものである。	右半体の左右側面は背面に対して直角の垂直平面であり、右半体の上側面は、突合せ部側から右第一線を越え右第二線に至らない位置までの狭い水平面と、次いで正面から見てL字状に表れる切欠き段落と、更に右側に向かって下り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の下側部は、突合せ部側から右第一線を越え右第二線に至らない位置までの狭い水平面と、次いで正面から見て逆L字状に表れる切欠き段落と、更に右側に向かって上り傾斜の傾斜平面とを有し、右半体の前面は、突合せ部側から右第一線までの背面に対して平行な狭い垂直平面と、次いで背面に対して緩やかな角度の垂直平面を有するものである。